

3. Mikindani村における給水環境整備(ケニア)

(1)実施団体:Star Awake CBO (#059)

2011年3月設立、安全な水の供給の実現等を目指した活動を展開している団体

(2)プロジェクト予算計画時:1,808ドル

(拠出内訳)JWFファンド1,500ドル、受益者308ドル

最終支出額:2,100ドル

(拠出内訳)JWFファンド1,500ドル、受益者500ドル、実施団体100ドル

(3)受益者数:450人

(4)実施地の水問題:

- ①対象地域唯一の診療所は、COVID-19の規制により安全な水が確保できないとして封鎖を余儀なくされていた。
- ②地域住民用の生活用水が、村の近隣にはあるものの野外水源に依存しており、この水も汚染がひどく、疾病に罹患しやすい環境にあった。
- ③安全な水を得ようとすると、遠くのパイプラインから高額な水を得るしかなく(0.25USD/20L)、経済的にも非常に厳しい状況にあった。



安全ではない水源から水を汲む住民



閉鎖された診療所

(5)主な活動内容:

関係者との協議、1.5キロの水道管整備とキオスク(水配給所)の建設(水道公社からの水供給)、女性15人から成る水利用委員会の設立、女性たちを対象とした研修実施

3. Mikindani村における給水環境整備(ケニア)

実施中



Ms. Brendaさん
(31歳)

これまで収入の35%以上を水の購入や水関連疾病の医療費に使っていました。今ではキオスク(水配給)で働いて収入を得るようになり、水購入費も収入の3%に過ぎなくなりました。経済状況がよくなり、生活に必要な他のものも購入できるようになりました。支援に感謝しています。

実施後



Mr. Stephenさん
(27歳)

このプロジェクトのおかげで、診療所を再開することができ、問題なく診察ができるようになりました。本当にありがとうございました。

※キオスクでの水の販売価格
0.025USD/20L